

## 達成度

- 5 目標を完全に達成した。  
 4 目標を概ね達成した。  
 3 目標を一部達成した。  
 2 目標をほとんど達成できなかった。  
 1 目標をまったく達成できなかった。

## 農業委員会事務局の目標（平成20年度）自己評価書

農業委員会事務局長 浜野敏幸

個別事業とその目標	達成度	目標達成の効果又は達成できなかった理由等
<p>1 農業委員の資質向上</p> <p>農業者の代表である農業委員として知識を深め、意識の向上を図るとともに、農地を守るという重大な任務と役割を充分理解し、農家の世話役となることを目的として、千葉県農業会議及び印旛農林振興センターの職員を講師として迎え、町農業委員会主催による研修会を定期的開催します。</p> <p>また、今年度は3年に1度の改選の年でもあるので、新人農業委員に対する研修会や、定期的に行われる千葉県農業会議及び千葉県等の主催による研修会に積極的に参加します。</p> <p>2 農地法等による農地の利用の適正化</p> <p>毎月実施する農業委員会総会に、農地法による許認可及び農業経営基盤強化促進法に基づく各種承認申請に併せて、書類審査及び現地確認をした上で許可または県へ進達を行います。</p> <p>また、本年度は総会時の現地確認と併せて農地パトロールを行うとともに、各担当地区ごとに委員による見回りを随時行い、違反転用等の発見に努めます。</p>	<p>4</p> <p>5</p>	<p>1 農業委員の資質向上</p> <p>毎年度実施している農業委員会視察研修会において、平成20年度は、農林水産省関東農政局に委員全員参加の下、国の職員から直接「遊休農地等」について、研修を受けました。参加した委員も活発な質疑等を行い、充実した研修となりました。</p> <p>また、新人農業委員研修や定期的に行われる研修会は積極的に参加しました。</p> <p>特に、女性委員2名においては、千葉県女性農業委員の会をはじめ会議やシンポジウムへ多く参加しました。</p> <p>2 農地法等による農地の利用の適正化</p> <p>毎月実施する農業委員会総会において、目標どおりの内容を実施しました。</p>
<p>チャレンジ目標 遊休農地の解消</p> <p>平成19年度において、農業委員の協力を得ながら、町内全域に存在する遊休農地の位</p>	<p>4</p>	<p>チャレンジ目標 遊休農地の解消</p> <p>平成20年度においても、酒々井町の遊休農地の把握を</p>

<p>置及び面積を把握することができました。その結果、全体農地の約 8 . 1 %が遊休農地化されていることがわかりました。</p> <p>今後、国の指導により県及び町が耕作放棄地解消指針を策定することとなるので、その際の資料として提供するとともに指導助言していきます。</p>		<p>行うため、実施し、その結果、遊休農地 539 筆、41・4 ヘクタールを確認し、県等へ報告しています。</p> <p>今後、遊休農地の解消について、具体的に実施していく予定です。</p>
---	--	--